

XLRアダプター
XLR-A4

このヘルプガイドは日本国向けです。

製品を使っていて困ったときやわからないことがあったときに使うマニュアルです。

ご注意

- 本機を使用して96 kHzまたは32bit float記録を行った動画ファイルをカメラで再生する場合は、96 kHzまたは32bit float記録に対応したカメラをご使用ください。対応していないカメラで再生すると、正しく再生できない場合があります。



対応するカメラについて

本機は、マルチインターフェースシュー搭載機器対応のXLRアダプターです。
本機に接続可能なカメラについては、こちらからご確認ください。（別ウィンドウで開きます。）

入力とチャンネル設定について

使用するマイク（別売）の種類や個数に合わせて、接続する端子や出力チャンネルを設定します。

「このアクセサリは本機との互換性がないか使用できない状態です」と表示されたら

こちらをご確認ください。

各部の名称

準備

[付属品を確認する](#)

[本機を直接カメラに取り付ける／取り外す](#)

[付属のシューオーディオ延長ケーブルを使って本機をカメラに取り付ける](#)

[マイク（別売）を取り付ける／取り外す](#)

[本機をパソコンのオーディオインターフェースとして使用する](#)

[付属のミニスタンドを使う](#)

設定

[デジタル出力／アナログ出力を切り替える](#)

[マイク（別売）や外部音声機器などを使う](#)

[LOW CUT（ローカット）機能を使って雑音を低減する](#)

[録音レベルを調節する](#)

[カメラ/パソコンの各チャンネルに出力する入力音声を選択する](#)

[入力とチャンネル設定について](#)

[本機について](#)

[使用上のご注意](#)

[主な仕様](#)

[商標について](#)

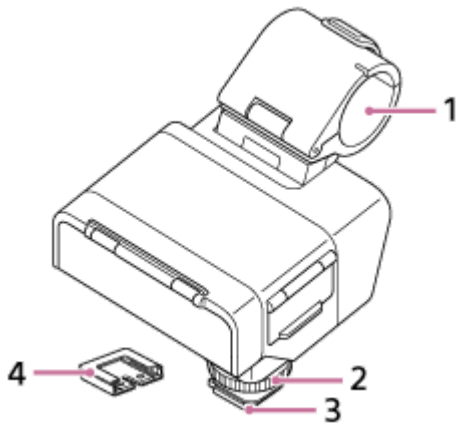
[故障かな？と思ったら](#)

[「このアクセサリは本機との互換性がないか使用できない状態です」と表示されたら](#)

XLRアダプター
XLR-A4

各部の名称

本体



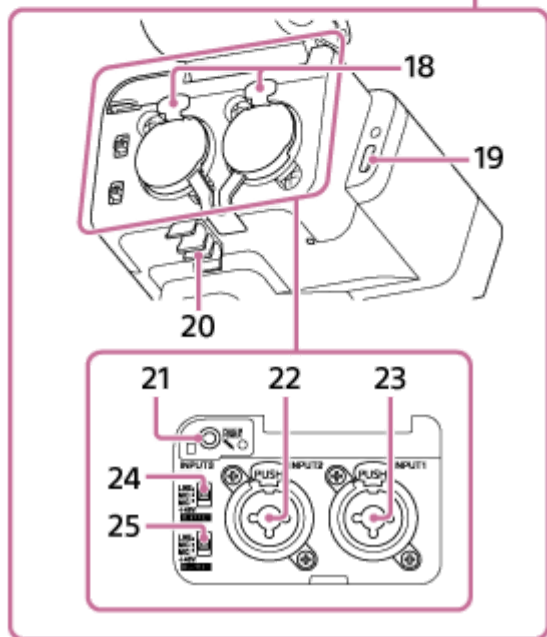
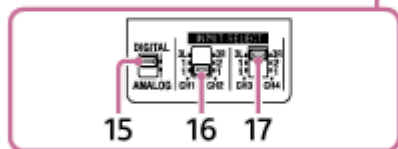
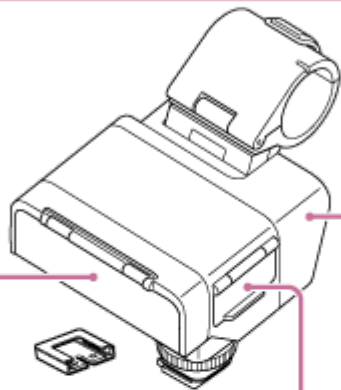
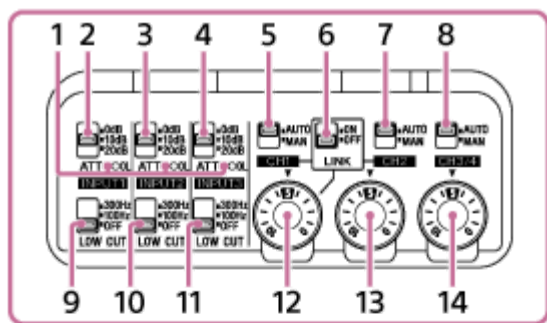
1. マイクホルダー
2. 固定ダイヤル
3. マルチインターフェースフット

ご注意

- 端子部を直接手で触れないでください。

4. 端子保護キャップ

スイッチ、ダイヤル、端子



1. OL (オーバーロード) ランプ
アナログクリッピングするような大きな入力音声の場合に点灯します。接続している機器や本機のATTスイッチで入力レベルを調節し、ランプが点灯しない範囲でお使いください。
2. ATT (INPUT1) スイッチ
INPUT1端子の基準入力レベルを設定します。INPUT1 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチが「MIC」または「MIC+48V」に設定されているときに有効です。
3. ATT (INPUT2) スイッチ
INPUT2端子の基準入力レベルを設定します。INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチが「MIC」または「MIC+48V」に設定されているときに有効です。
4. ATT (INPUT3) スイッチ
INPUT3端子の基準入力レベルを設定します。

5. AUTO/MAN (CH1) スイッチ
カメラ/パソコンのCH1に出力する音声レベルの調節方法 (自動/手動) を選択します。
6. LINKスイッチ
スイッチを「ON」に設定すると、カメラ/パソコンのCH2に出力する音声の録音レベルを、自動的にCH1側と連動させることができます。CH1とCH2にステレオ録音するときなどに便利です。
7. AUTO/MAN (CH2) スイッチ
カメラ/パソコンのCH2に出力する音声レベルの調節方法 (自動/手動) を選択します。
8. AUTO/MAN (CH3/4) スイッチ
カメラのCH3、CH4に出力する音声レベルの調節方法 (自動/手動) を選択します。
9. LOW CUT (INPUT1) スイッチ
INPUT1端子から入力する音声の低周波成分を減衰させて、不要な雑音を低減します。INPUT1 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチが「MIC」または「MIC+48V」に設定されているときに有効です。
10. LOW CUT (INPUT2) スイッチ
INPUT2端子から入力する音声の低周波成分を減衰させて、不要な雑音を低減します。INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチが「MIC」または「MIC+48V」に設定されているときに有効です。
11. LOW CUT (INPUT3) スイッチ
INPUT3端子から入力する音声の低周波成分を減衰させて、不要な雑音を低減します。
12. AUDIO LEVEL (CH1) ダイアル
カメラ/パソコンのCH1に出力する音声の録音レベルを調節します。
13. AUDIO LEVEL (CH2) ダイアル
カメラ/パソコンのCH2に出力する音声の録音レベルを調節します。
14. AUDIO LEVEL (CH3/4) ダイアル
カメラのCH3、CH4に出力する音声の録音レベルを調節します。
15. DIGITAL/ANALOGスイッチ
デジタル出力/アナログ出力を切り替えます。
お使いのカメラがマルチインターフェースシューのデジタルオーディオインターフェース非対応機器の場合は、「ANALOG」に切り替えてください。
16. INPUT SELECT (CH1/CH2) スイッチ
カメラ/パソコンのCH1、CH2に出力する入力音声を選択します。
17. INPUT SELECT (CH3/CH4) スイッチ
カメラのCH3、CH4に出力する入力音声を選択します。
18. リリースレバー
19. USB Type-C™端子

ご注意

- 本機のUSB Type-C端子は、USBオーディオ入力対応のパソコンとの接続に使用します。USB電源 (USB PD電源含む) などによる給電には対応していません。

20. ケーブルホルダー
21. INPUT3端子 (ステレオミニジャック、プラグインパワー対応)
22. INPUT2端子 (XLR/TRS*型3ピン、凹型、+48 Vファンタム電源対応)
* 3極ジャック (TIP : HOT、RING : COLD、SLEEVE : GND)

23. INPUT1端子 (XLR/TRS*型3ピン、凹型、+48 Vファンタム電源対応)

* 3極ジャック (TIP : HOT、RING : COLD、SLEEVE : GND)

24. INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチ

INPUT2端子に接続する機器に応じて切り替えます。

25. INPUT1 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチ

INPUT1端子に接続する機器に応じて切り替えます。

関連項目

- [本機を直接カメラに取り付ける／取り外す](#)
- [付属のシューオーディオ延長ケーブルを使って本機をカメラに取り付ける](#)
- [マイク \(別売\) を取り付ける／取り外す](#)
- [本機をパソコンのオーディオインターフェースとして使用する](#)
- [付属のミニスタンドを使う](#)
- [デジタル出力／アナログ出力を切り替える](#)
- [マイク \(別売\) や外部音声機器などを使う](#)
- [LOW CUT \(ローカット\) 機能を使って雑音を低減する](#)
- [録音レベルを調節する](#)
- [カメラ／パソコンの各チャンネルに出力する入力音声を選択する](#)
- [入力とチャンネル設定について](#)

XLRアダプター
XLR-A4

付属品を確認する

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

() 内の数字は個数です。

- XLRアダプター (XLR-A4) (1)
- 端子保護キャップ (装着済み) (2)
- シューオーディオ延長ケーブル (1)
- シューオーディオ延長ケーブル取付補強アタッチメント (1)
- ミニスタンド (1)
- ケース (1)
- 印刷物一式

XLRアダプター
XLR-A4

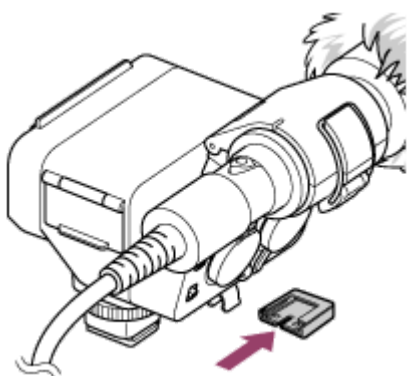
本機を直接カメラに取り付ける／取り外す

本機を直接カメラに取り付けます。

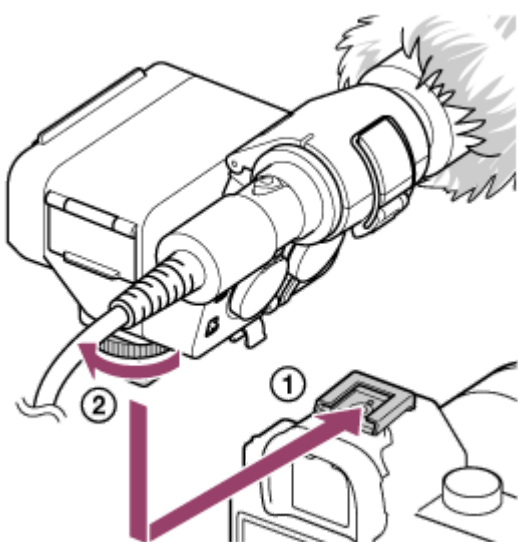
ご注意

- 取り付け／取り外しの際には、カメラの電源をオフにしてください。
- イラスト内のマイクは別売です。

1 本機の端子保護キャップを外す。



2 本機のマルチインターフェースフットをカメラに取り付け (①)、固定ダイヤルを「LOCK」方向に回してしっかり固定する (②)。



本機が差し込めないときは、固定ダイヤルを止まるまで反時計回りに回してから差し直してください。

本機を取り外すには

カメラの電源をオフにし、固定ダイヤルを止まるまで反時計回りに回してから、本機を手前にスライドさせてください。

ご注意

- カメラの内蔵フラッシュをお使いの場合は、本機を取り外してください。
- 本機を使用しないときは、マルチインターフェースフットに端子保護キャップを取り付けて保護してください。

5-074-393-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

XLRアダプター
XLR-A4

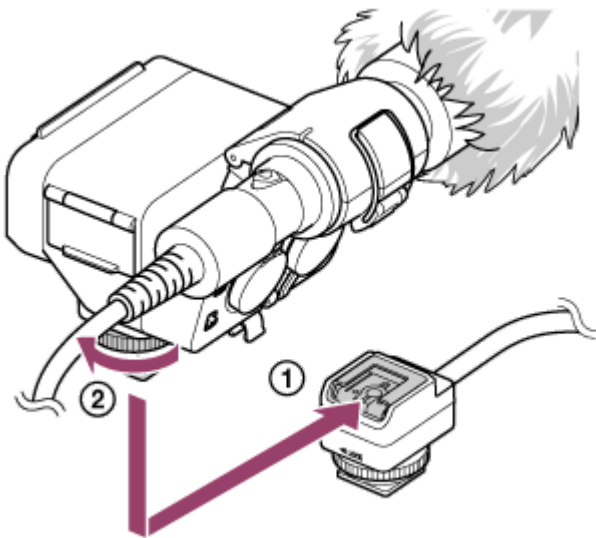
付属のシューオーディオ延長ケーブルを使って本機をカメラに取り付ける

シューオーディオ延長ケーブルを使って、本機をカメラに取り付けます。
カメラと離れた位置から、本機に取り付けたマイク（別売）で録音する場合などに便利です。

ご注意

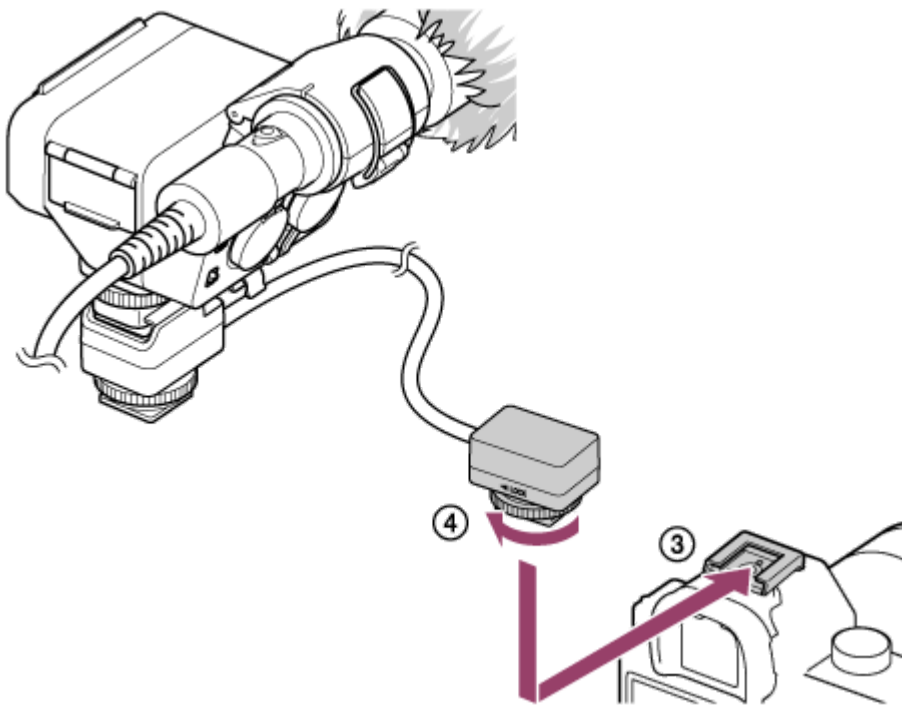
- 取り付け/取り外しの際には、カメラの電源をオフにしてください。
- シューオーディオ延長ケーブルは、マルチインターフェースシュー搭載機器対応のオーディオアクセサリと組み合わせてご使用いただけます。外付けフラッシュには対応していません。
シューオーディオ延長ケーブルに接続可能なカメラについては、以下のサイトでご確認ください。
<https://www.sony.net/dics/vmcsa1/>
- イラスト内のマイクは別売です。

- 1 本機とシューオーディオ延長ケーブルの端子保護キャップを外す。
- 2 本機のマルチインターフェースフットをシューオーディオ延長ケーブルに取り付け（①）、固定ダイヤルを「LOCK」方向に回してしっかり固定する（②）。



本機が差し込めないときは、固定ダイヤルを止まるまで反時計回りに回してから差し直してください。

- 3 シューオーディオ延長ケーブルのマルチインターフェースフットをカメラに取り付け（③）、固定ダイヤルを「LOCK」方向に回してしっかり固定する（④）。

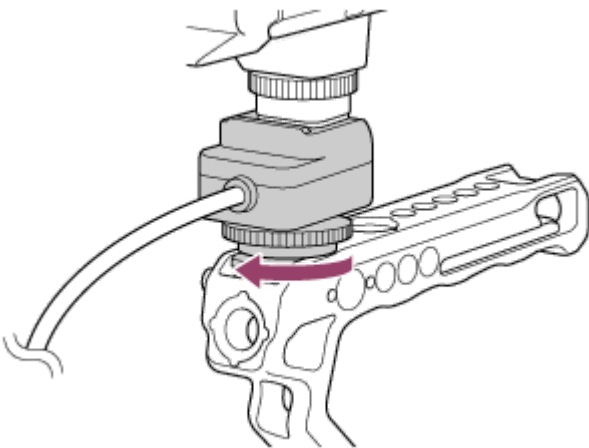


シューオーディオ延長ケーブルが差し込めないときは、固定ダイヤルを止まるまで反時計回りに回してから差し直してください。

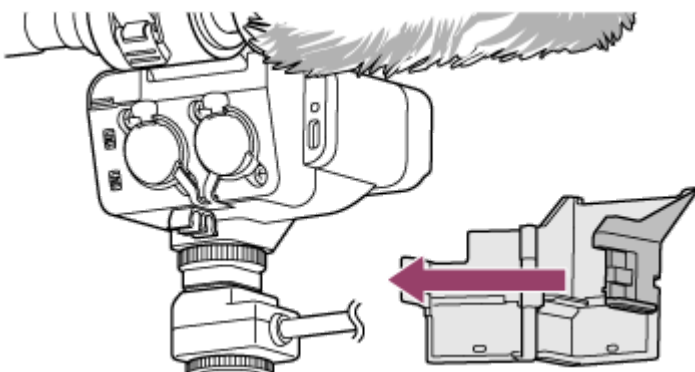
付属のシューオーディオ延長ケーブル取付補強アタッチメントを使う

本機をリグなどに取り付けて使う場合は、シューオーディオ延長ケーブル取付補強アタッチメントをあわせてお使いください。

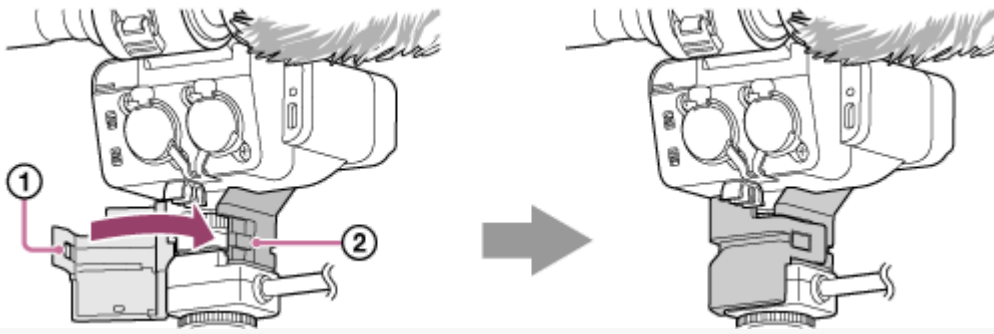
1. シューオーディオ延長ケーブルをリグなどに取り付け、固定ダイヤルを「LOCK」方向に回してしっかり固定する。



2. シューオーディオ延長ケーブル取付補強アタッチメントの形状を、本機とシューオーディオ延長ケーブルにあわせて取り付ける。



3. シューオーディオ延長ケーブル取付補強アタッチメントの穴 (①) を凸部 (②) に合わせて、カチッと音がするまではめこんで固定する。



ご注意

- カメラの内蔵フラッシュをお使いの場合は、本機を取り外してください。
- 本機またはシューオーディオ延長ケーブルを使用しないときは、マルチインターフェースフットに端子保護キャップを取り付けて保護してください。
- シューオーディオ延長ケーブル取付補強アタッチメントを取り付けるときに、指を挟まないようご注意ください。
- シューオーディオ延長ケーブルをリグなどに取り付けて使う際、ケーブルが余る場合は、リグに巻き付けるなどしてレンズに映り込まないようにご注意ください。

XLRアダプター
XLR-A4

マイク（別売）を取り付ける／取り外す

ここでは、一般的なコンデンサーマイク（モノラル）を本機のINPUT1端子に取り付ける例を説明します。

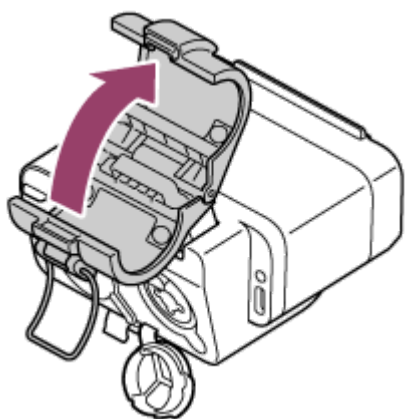
ご注意

- マイクを取り付ける／取り外す場合は、必ずINPUT1（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチを「MIC+48V」以外に切り替えた状態で行ってください。「MIC+48V」のままケーブルの抜き差しを行うと、大きなノイズが出たり、マイクが故障したりする可能性があります。
- イラスト内のマイクは別売です。

ヒント

- マイクにはウインドスクリーンを装着することをおすすめします。必要に応じて、マイクスペーサーもあわせてお使いください。

1 マイクホルダーのロックを外し、取り付け部のカバーを開ける。



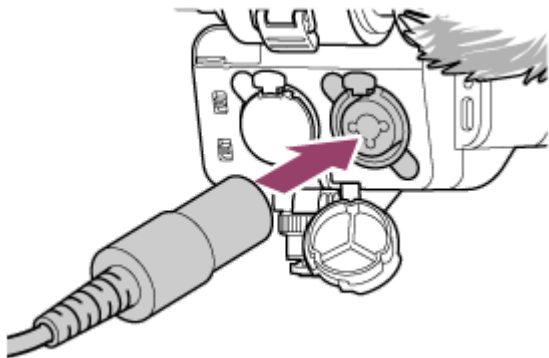
2 マイクをマイクホルダーの取り付け部に入れ、カバーを閉じ、マイクホルダーをロックする。



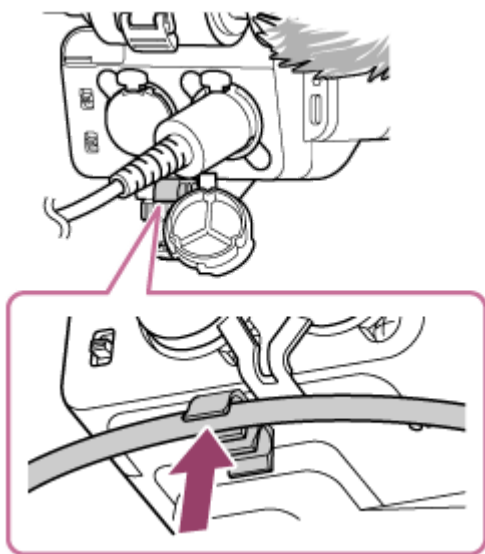
ご注意

- カバーを閉じてロックするときに、指を挟まないようご注意ください。

- 3 マイクケーブルを本機のINPUT1端子につなぐ。



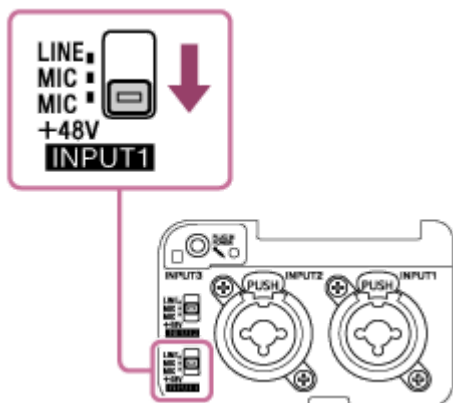
- 4 マイクケーブルを本機のケーブルホルダーに取り付ける。



ケーブルを無理に引っ張ったり、たわんだ状態でケーブルホルダーに取り付けたりすると、マイクホルダーに取り付けたマイクが大きく傾く場合があります。

十分な防振効果が得られるように、マイクが大きく傾かないようご注意ください。

- 5 INPUT1 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチを「MIC+48V」に切り替える。



マイクを取り外すには

1. INPUT1 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチを、「MIC+48V」以外に切り替える。
2. リリースレバーを押しながら、マイクケーブルのプラグを持って引き抜く。
3. マイクをマイクホルダーから取り外す。

関連項目

- [マイク（別売）や外部音声機器などを使う](#)

5-074-393-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

XLRアダプター
XLR-A4

本機をパソコンのオーディオインターフェースとして使用する

USBオーディオ入力対応のパソコンと接続して、本機をパソコンのオーディオインターフェースとして使用できます。

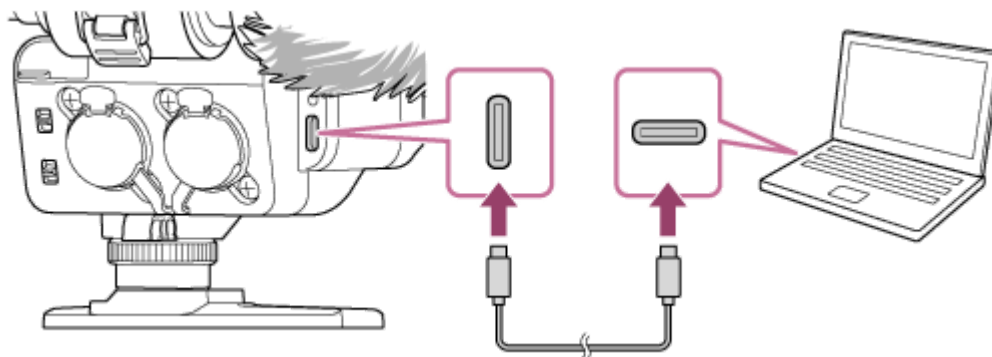
ご注意

- パソコンに接続すると、本機はパソコンからのUSB電源供給で動作します。
本機をカメラに取り付けている場合は、パソコンに接続する前に必ずカメラから取り外してください。
- パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 本機をパソコンに接続して録音するには、お使いのパソコンがUSB Audio Class 2.0に対応している必要があります。
- 本機をパソコンに接続する際は、接続するパソコンの端子を確認して、対応したケーブルをお使いください。
また、USB Type-Cケーブルは、データ転送に対応したものをご用意ください。
- イラスト内のマイクは別売です。

1 本機を付属のミニスタンドに取り付ける。

詳しくは、「[付属のミニスタンドを使う](#)」をご覧ください。

2 USB Type-Cケーブル（市販）を使って、本機のUSB Type-C端子とパソコンのUSB端子をつなぐ。



3 本機が正しく認識されているか確認し、パソコン側でオーディオ設定を行う。

- パソコン接続時は、最大24 bit/96 kHz/2chでの録音になります。
- パソコン接続時は、以下のスイッチ、ダイヤルの設定は無効になります。
 - DIGITAL/ANALOGスイッチ
「DIGITAL」または「ANALOG」の選択に関わらずデジタル出力になります。
 - INPUT SELECT (CH3/CH4) スイッチ
 - AUTO/MAN (CH3/4) スイッチ
 - AUDIO LEVEL (CH3/4) ダイヤル

ご注意

- 本機をパソコンに接続しているときに、無理な力を加えないでください。本機やパソコンが破損することがあります。
- 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンのバッテリーが消耗する場合があります。本機を接続したまま長時間放置しないでください。
- 自作パソコンや改造したパソコンでの使用は保証できません。同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。
- 本機をパソコンと接続するときはUSB Type-Cケーブルのみを使い、必ず直接つないでください。USBハブなどを経由して接続すると、正しく動作しません。
- 録音中に本機のスイッチ類やダイヤル類を操作すると、操作音が録音されてしまうことがあります。必ずいったん録音を停止してから切り替えてください。

5-074-393-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

XLRアダプター
XLR-A4

付属のミニスタンドを使う

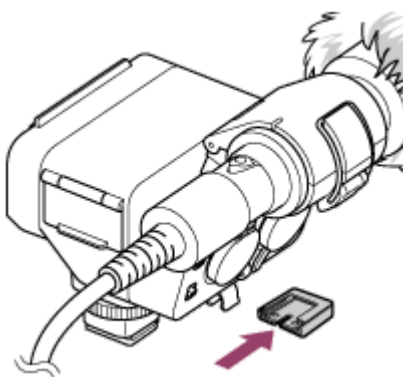
本機をパソコンと接続するときは、ミニスタンドをご使用ください。

ご注意

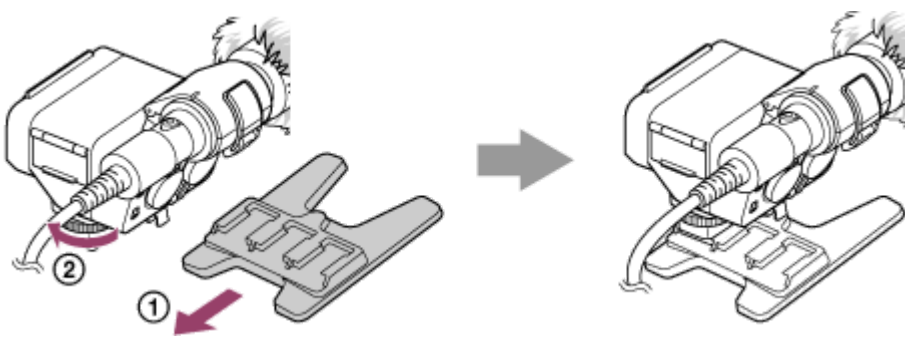
- イラスト内のマイクは別売です。

取り付けかた

- 1 本機の端子保護キャップを外す。



- 2 ミニスタンドを本機のマルチインターフェースフットに差し込み (①)、本機の固定ダイヤルを「LOCK」方向に回してしっかり固定する (②)。



取り外しかた

本機の固定ダイヤルを止まるまで反時計回りに回してから、取り付けたときと反対の方向へミニスタンドをスライドさせてください。

ヒント

- ミニスタンドには、3か所の取り付け部があります。お使いのマイク（別売）に応じて、バランスよく本機を固定できる位置に取り付けてください。
- 使用するマイクと本機の組み合わせによっては、ミニスタンドで本機を支えられない場合があります。その場合は、マイクを別途固定してご使用ください。

ご注意

- 本機を使用しないときは、マルチインターフェースフットに端子保護キャップを取り付けて保護してください。

関連項目

- [本機をパソコンのオーディオインターフェースとして使用する](#)

5-074-393-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

XLRアダプター
XLR-A4

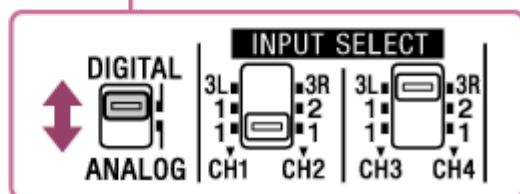
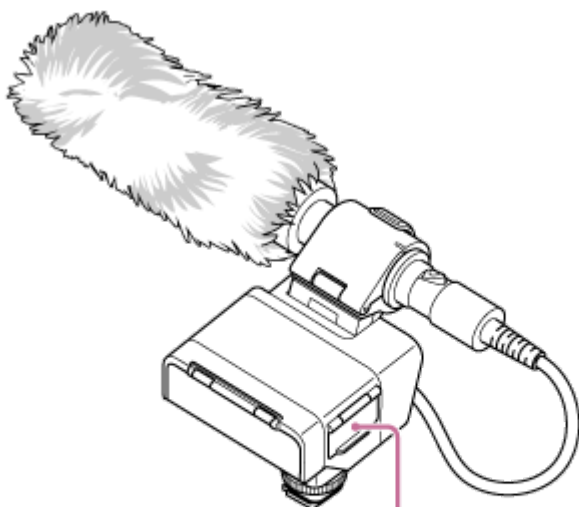
デジタル出力／アナログ出力を切り替える

音声の出力方法を設定します。

ご注意

- イラスト内のマイクは別売です。

- 1 お使いのカメラに合わせて、DIGITAL/ANALOGスイッチを切り替える。



ご注意

- お使いのカメラがマルチインターフェースシューのデジタルオーディオインターフェース非対応機器の場合は、「ANALOG」に切り替えてください。
- 本機をパソコンに接続して使用する際は、DIGITAL/ANALOGスイッチの設定に関わらず、デジタル出力になります。

XLRアダプター
XLR-A4

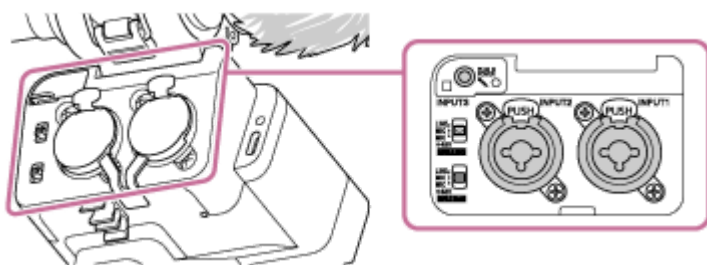
マイク（別売）や外部音声機器などを使う

マイクや外部音声機器（ミキサーなど）を使って録音します。

ご注意

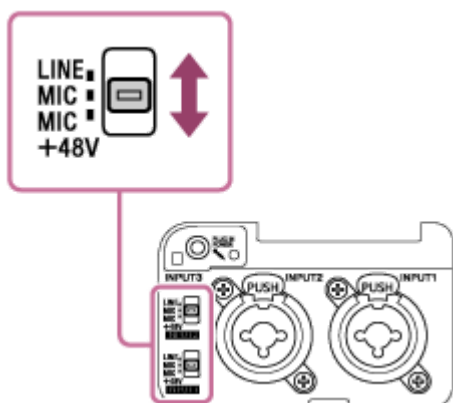
- INPUT1端子／INPUT2端子に機器を取り付けたり、取り外したりするときは、必ずINPUT1（LINE/MIC/MIC+48V）／INPUT2（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチを「MIC+48V」以外に切り替えてください。「MIC+48V」のままケーブルの抜き差しを行うと、大きなノイズが出たり、機器が故障したりする可能性があります。
- パソコン接続時は、最大2chでの録音になります。
- イラスト内のマイクは別売です。

1 接続したい機器を、本機のINPUT1端子／INPUT2端子／INPUT3端子につなぐ。



INPUT1端子とINPUT2端子のいずれか一方を使用するときは、INPUT1端子に機器をつないでください。INPUT3端子に機器を接続する場合は、手順3に進んでください。

2 入力する音源を選ぶ。



INPUT1端子／INPUT2端子に機器をつなぐ場合、接続する機器に合わせてINPUT1（LINE/MIC/MIC+48V）／INPUT2（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチを切り替えます。

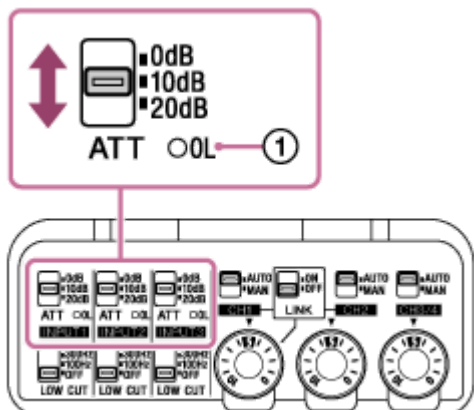
- LINE（基準入力レベル+4 dBu（0 dBu=0.775 Vrms））：外部音声機器（ミキサーなど）
- MIC：ダイナミックマイクや電池内蔵のマイク
- MIC+48V：+48V電源（ファンタム電源）対応のマイク

3 INPUT SELECTスイッチで、カメラ/パソコンの各チャンネルに出力する入力音声を選択する。

カメラ/パソコンの各チャンネルに出力する入力音声を、本機のINPUT1、INPUT2またはINPUT3から選択します。

詳しくは、「[カメラ/パソコンの各チャンネルに出力する入力音声を選択する](#)」をご覧ください。

4 機器を接続した端子のATT (INPUT1/INPUT2/INPUT3) スイッチで、マイクの基準入力レベルを設定する。



マイクの感度や入力音声の大きさに応じて設定してください。

- 0dB : 感度の低いマイクを使うときなど、音を増幅して録音したい場合。
 - INPUT1/INPUT2 : 基準入力レベル -60 dBu
 - INPUT3 : 基準入力レベル -76 dBu
- 10dB : 人の声を録音する場合の推奨レベル。
 - INPUT1/INPUT2 : 基準入力レベル -50 dBu
 - INPUT3 : 基準入力レベル -66 dBu
- 20dB : 感度の高いマイクを使うときなど、音を抑えて録音したい場合。
 - INPUT1/INPUT2 : 基準入力レベル -40 dBu
 - INPUT3 : 基準入力レベル -56 dBu

ご注意

- ATT (INPUT1およびINPUT2) スイッチは、それぞれに対応するINPUT1 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチ、またはINPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチが「MIC」または「MIC+48V」に設定されている場合のみ有効です。「LINE」に切り替えていると、基準入力レベルが+4 dBuに固定されるため、ATTスイッチを切り替えても基準入力レベルは変わりません。

ヒント

- アナログクリッピングするような大きな入力音声の場合は、本機のOL (オーバーロード) ランプ (①) が点灯します。その場合は、接続している機器や本機のATTスイッチで入力レベルを調節し、ランプが点灯しない範囲でお使いください。

5 録音レベルを調節する。

調節方法について詳しくは、「[録音レベルを調節する](#)」をご覧ください。

ヒント

- 機器を接続しない端子のノイズが気になるときは、INPUT1（LINE/MIC/MIC+48V）／INPUT2（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチを「LINE」に切り替えてください。

関連項目

- [デジタル出力／アナログ出力を切り替える](#)
- [LOW CUT（ローカット）機能を使って雑音を低減する](#)
- [入力とチャンネル設定について](#)

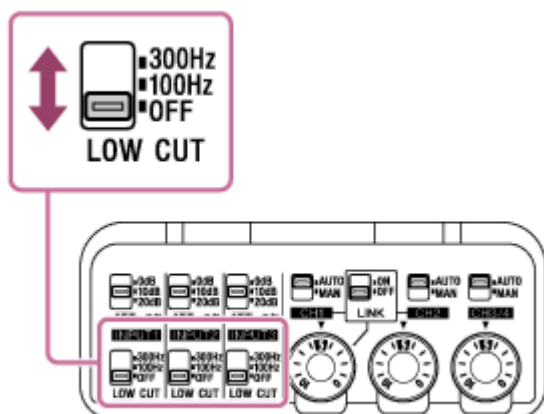
5-074-393-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

XLRアダプター
XLR-A4

LOW CUT (ローカット) 機能を使って雑音を低減する

INPUT1端子/INPUT2端子/INPUT3端子から入力した音声の低周波成分を減衰させて、風切り音や空調ノイズ、振動ノイズなどの不要な雑音を低減します。

1 LOW CUT (INPUT1/INPUT2/INPUT3) スイッチを切り替える。



低減したい雑音に応じて、「300Hz」、「100Hz」のいずれかを選択してください。

ご注意

- LOW CUT (INPUT1およびINPUT2) スイッチは、それぞれに対応するINPUT1 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチ、またはINPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチが「MIC」または「MIC+48V」に設定されている場合のみ有効です。

関連項目

- [マイク \(別売\) や外部音声機器などを使う](#)

XLRアダプター
XLR-A4

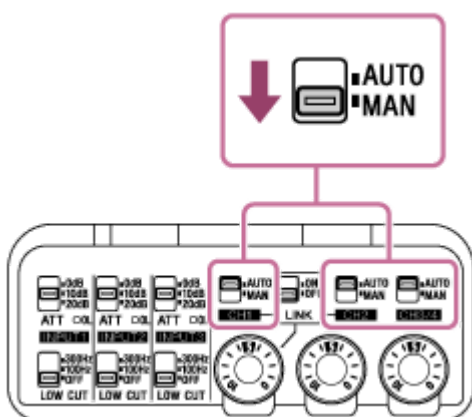
録音レベルを調節する

INPUT1端子/INPUT2端子/INPUT3端子から入力した音声の録音レベルを調節します。

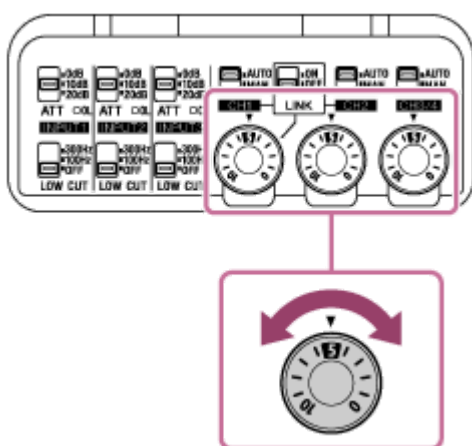
ご注意

- 本機をカメラに接続しているときは、カメラ側で録音レベル調節を行うことはできません。
- パソコン接続時は、最大2chでの録音になります。

- 1 音声を出力するチャンネル (CH1/CH2/CH3/4) のAUTO/MANスイッチを「MAN」に切り替える。



- 2 AUDIO LEVELダイヤルを回して、適正なレベルになるように音量を調節する。



適正なレベルになっているか、カメラ/パソコンのレベルメーターで確認するか、カメラ/パソコンにヘッドホンを接続して確認してください。

録音レベルを自動的に調節するには

AUTO/MANスイッチを「AUTO」に切り替えます。

入力音声大きい場合、音がひずまないように録音レベルが自動的に小さくなります。

ヒント

- CH2に出力する音声の録音レベル調節を自動的にCH1側と連動させるには、LINKスイッチを「ON」に切り替えてください。CH1とCH2にステレオ録音するときなどに便利です。CH1のAUTO/MANスイッチを「MAN」にした状態でLINKスイッチを「ON」に切り替えると、CH2のAUDIO LEVELダイヤルは無効になります。CH1のAUDIO LEVELダイヤルを操作することでCH1とCH2に出力する音声の録音レベルを同時に調節することができます。
- 32bit floatで記録する場合、録音レベルの自動調整機能は無効になり、録音レベルはAUTO/MANスイッチを「MAN」に設定したときのAUDIO LEVELダイヤル「5」に固定されますが、アナログクリッピングが発生しない限り、小さな音から大きな音までひずみなく記録できます。また、録音したファイル上でゲインを調整することで、ひずみのない最適なレベルの音声データとして編集が可能です。

関連項目

- [マイク（別売）や外部音声機器などを使う](#)
- [入力とチャンネル設定について](#)

5-074-393-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

XLRアダプター
XLR-A4

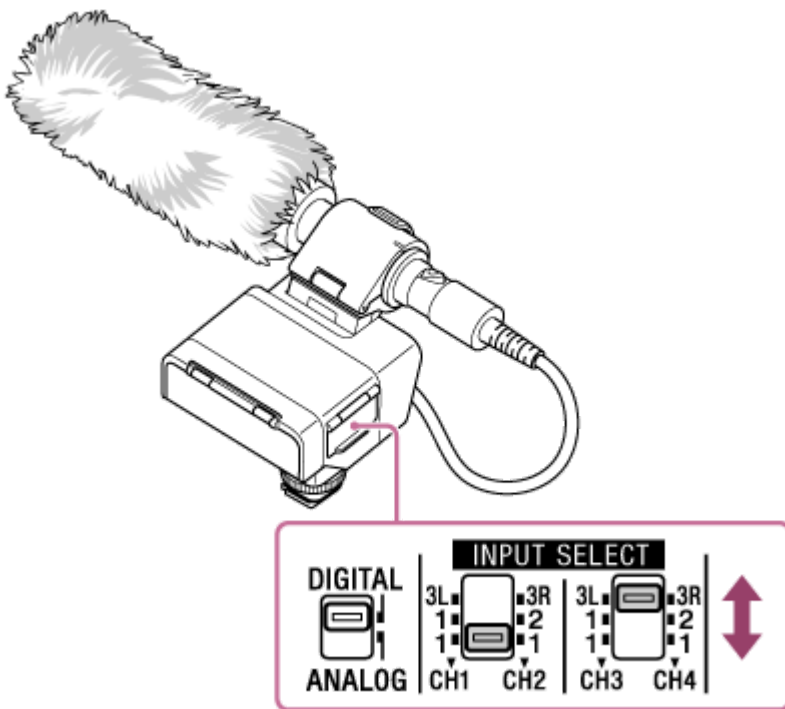
カメラ/パソコンの各チャンネルに出力する入力音声を選択する

INPUT SELECTスイッチを切り替えて、カメラ/パソコンの各チャンネルに出力する入力音声を、本機のINPUT1、INPUT2またはINPUT3から選択します。

ご注意

- 使用するチャンネル数は、カメラ/パソコン側のメニューで設定してください。
- パソコン接続時は、最大2chでの録音になります。
- イラスト内のマイクは別売です。

1 INPUT SELECTスイッチを切り替える。



● CH1およびCH2に出力する場合

INPUT SELECT (CH1/CH2) スイッチで設定します。

使用する入力端子	INPUT SELECT (CH1/CH2) スイッチの設定	出力するチャンネル
INPUT1のみ	1/1	CH1 : INPUT1 CH2 : INPUT1
INPUT1、INPUT2	1/2	CH1 : INPUT1 CH2 : INPUT2
INPUT3	3L/3R	CH1 : INPUT3L CH2 : INPUT3R

● CH3およびCH4に出力する場合

INPUT SELECT (CH3/CH4) スイッチで設定します。

使用する入力端子	INPUT SELECT (CH3/CH4) スイッチの設定	出力するチャンネル
INPUT1のみ	1/1	CH3 : INPUT1 CH4 : INPUT1
INPUT1、INPUT2	1/2	CH3 : INPUT1 CH4 : INPUT2
INPUT3	3L/3R	CH3 : INPUT3L CH4 : INPUT3R

具体的な接続と設定の例については、「[入力とチャンネル設定について](#)」をご覧ください。

関連項目

- [マイク（別売）や外部音声機器などを使う](#)

XLRアダプター
XLR-A4

入力とチャンネル設定について

使用するマイク（別売）の種類や個数に合わせて、接続する端子や出力チャンネルを設定します。

1つのマイクを使用する

- **XLR接続のモノラルマイクを使用する場合**

INPUT1端子に接続し、INPUT SELECT (CH1/CH2) スイッチを「1/1」に設定します。
CH1とCH2へのデュアルモノラルでの録音となり、ドキュメンタリーの録音に適しています。



また、INPUT SELECT (CH3/CH4) スイッチを「1/1」に設定して、CH1、CH2とは異なる録音レベルの音声をCH3とCH4にバックアップで録音することが可能です。

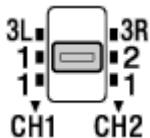
AUTO/MAN (CH3/4) スイッチを「MAN」に設定した状態で、AUDIO LEVEL (CH3/4) ダイアルを操作して、録音レベルを調節してください。



- **XLR接続 (L/R) のステレオマイクを使用する場合**

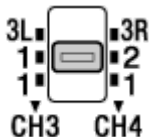
Lch側のプラグをINPUT1端子に、Rch側のプラグをINPUT2端子に接続し、INPUT SELECT (CH1/CH2) スイッチを「1/2」に設定します。

CH1とCH2へのステレオでの録音となり、ライブや風景の録音に適しています。



また、INPUT SELECT (CH3/CH4) スイッチを「1/2」に設定して、CH1、CH2とは異なる録音レベルの音声をCH3とCH4にバックアップで録音することが可能です。

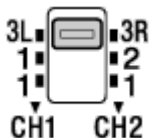
AUTO/MAN (CH3/4) スイッチを「MAN」に設定した状態で、AUDIO LEVEL (CH3/4) ダイアルを操作して、録音レベルを調節してください。



- **ステレオミニプラグ接続のステレオマイクを使用する場合**

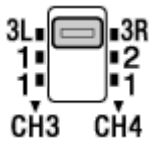
INPUT3端子に接続し、INPUT SELECT (CH1/CH2) スイッチを「3L/3R」に設定します。

CH1とCH2へのステレオでの録音となり、ライブや風景の録音に適しています。



また、INPUT SELECT (CH3/CH4) スイッチを「3L/3R」に設定して、CH1、CH2とは異なる録音レベルの音声をCH3とCH4にバックアップで録音することが可能です。

AUTO/MAN (CH3/4) スイッチを「MAN」に設定した状態で、AUDIO LEVEL (CH3/4) ダイアルを操作して、録音レベルを調節してください。



ヒント

- 1つのマイクを使用する場合は、必ずしもCH1～CH4すべてに音声を出力する必要はありません。使用するチャンネル数やINPUT SELECTスイッチは、必要に応じて設定してください。

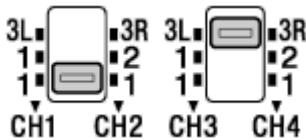
複数のマイクを使用する

● XLR接続のモノラルマイクとステレオミニプラグ接続のステレオマイクを使用する場合

INPUT1端子にモノラルマイクを接続し、INPUT3端子にステレオマイクを接続します。

インタビューなど、複数のマイク音声を分けて録音するときに適しています。

モノラルマイクの音声をCH1とCH2に、ステレオマイクの音声をCH3とCH4に出力したい場合は、INPUT SELECT (CH1/CH2) スイッチを「1/1」に、INPUT SELECT (CH3/CH4) スイッチを「3L/3R」に設定してください。



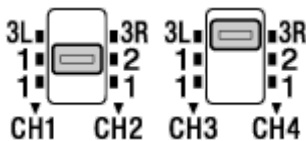
モノラルマイクの音声をCH3とCH4に、ステレオマイクの音声をCH1とCH2に出力したい場合は、INPUT SELECT (CH1/CH2) スイッチを「3L/3R」に、INPUT SELECT (CH3/CH4) スイッチを「1/1」に設定してください。

● XLR接続 (L/R) とステレオミニプラグ接続のステレオマイク2本を使用する場合

INPUT1端子にステレオマイクのLch側のプラグ、INPUT2端子にステレオマイクのRch側のプラグを接続し、INPUT3端子にステレオマイクを接続します。

外でのインタビューなど、環境音と話し手の音声を分けて録音するときに適しています。

XLR接続のステレオマイクの音声をCH1とCH2に、ステレオミニプラグ接続のステレオマイクの音声をCH3とCH4に出力したい場合は、INPUT SELECT (CH1/CH2) スイッチを「1/2」に、INPUT SELECT (CH3/CH4) スイッチを「3L/3R」に設定してください。



XLR接続のステレオマイクの音声をCH3とCH4に、ステレオミニプラグ接続のステレオマイクの音声をCH1とCH2に出力したい場合は、INPUT SELECT (CH1/CH2) スイッチを「3L/3R」に、INPUT SELECT (CH3/CH4) スイッチを「1/2」に設定してください。

関連項目

- [録音レベルを調節する](#)
- [カメラ/パソコンの各チャンネルに出力する入力音声を選択する](#)

XLRアダプター
XLR-A4

使用上のご注意

- 同梱のシューオーディオ延長ケーブルは、マルチインターフェースシュー搭載機器対応のオーディオアクセサリーと組み合わせてご使用いただけます。外付けフラッシュには対応していません。
- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。
- カメラの内蔵フラッシュをお使いの場合は、本機を取り外してください。
- 火災、感電の原因となることがありますので以下にご注意ください。
 - 分解や改造をしない
 - ぬれた手で使用しない
 - 内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない
 - 水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない
- 破損や不具合の原因となる場合がありますので以下にご注意ください。
 - 本機は精密機器のため、落としたり、たたいたり、強い衝撃を与えない
 - 端子部を直接手で触らない
 - 高温多湿の場所での使用、保存を避ける
 - 屋外使用するときは、雨や海水にぬれないようにする
- 内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。
- 本機で96 kHzまたは32bit float記録を行うには、お使いのカメラが96 kHzまたは32bit float記録に対応している必要があります。
- 本機を使用して96 kHzまたは32bit float記録を行う場合、高速なメモリーカードが必要になる場合があります。対応するメモリーカードについては、お使いのカメラのヘルプガイドをご参照ください。
- INPUT1端子／INPUT2端子にマイク（別売）や外部機器を取り付けたり、取り外したりするときは、必ずINPUT1（LINE/MIC/MIC+48V）／INPUT2（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチを「MIC+48V」以外に切り替えてください。「MIC+48V」のままケーブルの抜き差しを行うと、大きなノイズが出たり、マイクや外部機器が故障したりする可能性があります。
- 端子部の破損防止のためにも、本機を持ち歩く際は、カメラから取り外して付属の端子保護キャップを取り付け、ケースに入れてください。
- ブラケットなどを介して、カメラに他のアクセサリーも取り付けられた状態で使用する場合、手持ち撮影をしないでください。落下などにより、不慮の事故の原因となりますので、カメラを三脚に取り付けて使用してください。
- 録音中はカメラやレンズの作動音、操作音などが記録されてしまうことがあります。録音中に本機に触れると、ノイズとして録音されてしまいます。
- 録音中は、INPUT1スイッチ、INPUT2スイッチ、DIGITAL/ANALOGスイッチの設定を変更しないでください。

- 使用中、マイクをスピーカーに近づけると「ピー」という音が発生することがあります（ハウリング現象）。その場合は、マイクとスピーカーの距離をできるだけ離すか、スピーカーの音量を下げてください。
- レンズ交換の際、レンズおよびカメラボディにウインドスクリーン（別売）の繊維が付着していないか確認してください。付着している場合は、ブローアなどで繊維を取り除いてからレンズ交換をしてください。
- マイクにほこりや水滴などが付着していると、正しく録音されないことがあります。取り除いてから使用してください。
- レンズ交換は、本機をカメラから取り外してから行ってください。
- 本機ご使用後は、レンズのクリーニングをおすすめします。
- 本機にUSBケーブルを接続した状態で、カメラに取り付けて使用した際の性能は保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を電波塔などの近くで使用すると、撮影画像や音声にノイズが記録される場合があります。電波塔などから十分に離れた場所で撮影してください。

XLRアダプター
XLR-A4

主な仕様

入力端子	<p>INPUT1端子/INPUT2端子 (XLR/TRS^{*1}型3ピン、凹型、+48 Vファンタム電源対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● MIC <ul style="list-style-type: none"> – 基準入力レベル : - 50 dBu (ATT = 10) – 基準記録レベル : - 20 dBFS ● LINE <ul style="list-style-type: none"> – 基準入力レベル : + 4 dBu – 基準記録レベル : - 20 dBFS <p>INPUT3端子 (ステレオミニジャック、プラグインパワー対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 基準入力レベル : - 66 dBu (ATT = 10) ● 基準記録レベル : - 20 dBFS <p>(0 dBu=0.775 Vrms)</p>
サンプリング周波数/量子化ビット数	48 kHz/16 bit、48 kHz/24 bit ^{*2} 、48 kHz/32bit float ^{*2} 、96 kHz/24 bit ^{*2} 、96 kHz/32bit float ^{*2}
周波数特性	<p>サンプリング周波数48 kHz設定時 : 20 Hz~22 000 Hz ±1 dB (XLR LINE、デジタル出力)</p> <p>サンプリング周波数96 kHz設定時 : 20 Hz~40 000 Hz ±1 dB (XLR LINE、デジタル出力)</p>
定格電圧	7.82 V 
消費電力 (約)	1.8 W
外形寸法 (約)	113.2 mm × 99.8 mm × 80.0 mm (幅×高さ×奥行き) (突起部含まず)
質量 (約)	198 g
動作温度	0 °C~40 °C
保存温度	- 20 °C~+ 55 °C

*1 3極ジャック (TIP : HOT、RING : COLD、SLEEVE : GND)

*2 お使いのカメラが対応している場合

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

XLRアダプター
XLR-A4

商標について

- Multi Interface Shoe (マルチインターフェースシュー) はソニーグループ株式会社の商標です。
- USB Type-C™およびUSB-C™はUSB Implementers Forumの商標です。

XLRアダプター
XLR-A4

「このアクセサリは本機との互換性がないか使用できない状態です」と表示されたら

以下の順番で確認してください。

ご注意

- イラスト内のマイクは別売です。

1 本機に対応しているカメラをお使いですか？

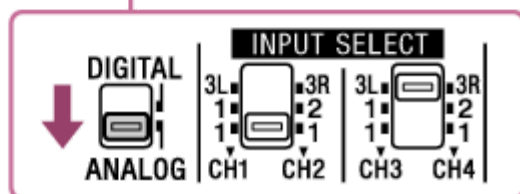
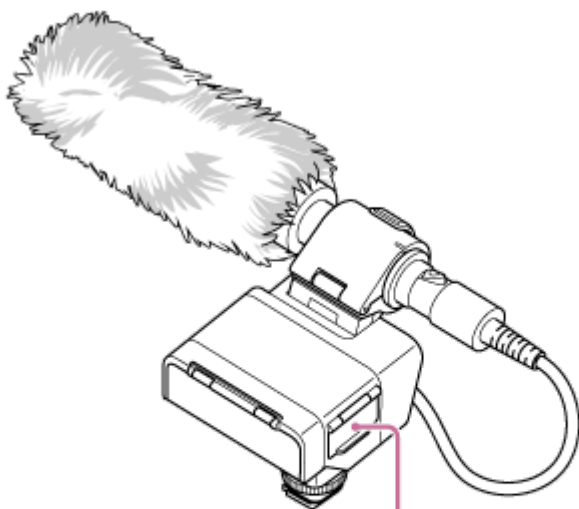
本機に接続可能なカメラについては、以下のサイトでご確認ください。

<https://www.sony.net/dics/xlra4/>

ご注意

- 上記のサイトに記載がないカメラの場合は、本機と組み合わせてお使いいただくことはできません。

2 デジタルオーディオインターフェース非対応のカメラを本機と使う場合は、本機のDIGITAL/ANALOGスイッチを「ANALOG」に設定してください。



3 本機やカメラの接点がほこりなどで汚れている場合は、認識されないことがあります。綿棒や乾いた柔らかい布（クリーニングクロスなど）で汚れをふき取ってください。水や薬品などは使わないでください。

ご注意

- DIGITAL/ANALOGスイッチが、「ANALOG」または「DIGITAL」どちらかの位置に確実に設定されていることを確認してください。中間に位置していると正しく動作しない場合があります。

